

岩国市・由宇町・玖珂町・本郷村
周東町・錦町・美川町・美和町

合併協定調印式

(平成17年2月8日)

岩国地域8市町村合併協議会事務局

岩国市・由宇町・玖珂町・本郷村・周東町・錦町・美川町・美和町
合併協定調印式

○日 時 平成17年2月8日（火曜日） 午後3時00分～午後4時00分

○場 所 ホテルかんこう（岩国市）

○次 第

1 開 式

2 合併協議の経過報告

周東町助役（合併協議会幹事長） 山 根 俊 郎 . . . 2

3 合併協定書調印

4 特別立会人の署名

5 主催者挨拶

岩国市長（合併協議会会長） 井 原 勝 介 . . . 4

由宇町長（玖珂郡町村会会長） 槇 本 利 光 . . . 6

6 来賓祝辞

山口県知事 二 井 関 成 様 . . . 8

7 来賓紹介

8 閉 式

[午後3時00分開会]

○**白木事務局長** 皆様、大変長らくお待たせをいたしました。本日は、大変お忙しい中、合併協定調印式に御臨席を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

ただいまから、岩国市、由宇町、玖珂町、本郷村、周東町、錦町、美川町、美和町、以上8市町村の合併協定調印式を開式いたします。

私は、本日の進行係を務めさせていただきます、本協議会の事務局長をさせていただきます白木と申します。御協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、初めに、8市町村の合併協議の経過につきまして、合併協議会幹事長を務めております周東町助役の山根俊郎が御報告申し上げます。

○**周東町助役山根俊郎（合併協議会幹事長）** ただいま司会の方から御紹介をいただきました幹事長の山根でございます。私の方からは、岩国地域8市町村の合併協議の経過につきまして御報告を申し上げたいというふうに思います。

皆様方には、お手元の合併協定調印式資料の4ページ、5ページに、合併協定調印までの経過を添付しておりますので、御参照をいただきたいというふうに思います。よろしいでしょうか。

さて、皆様御存じのとおり、近年の地方公共団体を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。地方分権の推進による国と地方の関係の見直しや、財政状況の悪化、また、少子高齢化のさらなる進行や、高度情報化社会の進展などに伴い行政ニーズの高度多様化が進み、これらの諸課題に、基礎自治体である市町村が将来にわたって対応をすることが極めて厳しい状況となってきたところでございます。

こうした中、当岩国地域におきましては、かねてから広域行政を推進してきました岩国地区広域市町村圏協議会において、平成13年5月に県の支援を受け市町村合併シミュレーション事業に着手するなど、調査・研究に取り組んでまいりました。

こうした調査・研究の状況につきましては、地域住民の皆様にも情報提供に努め、平成14年8月に実施した合併問題アンケートにおいては、回答者の56%の方から、「合併は必要」と回答をいただき、次のステップである具体的な合併協議を行う組織の設置について検討することになりました。

しかしながら、和木町と玖珂町におかれましては、各町の御事情により、合併協議には参加しないとの意思表示があり、残る7市町村で、平成14年11月に岩国地域市町村合併調査検討協議会を設置することとなりました。

この調査検討協議会では、平成15年2月までに6回の協議会を開催し、基本4項目を初めとする合併の重要項目について協議の方向性が確認されるとともに、県の合併重点支援地域の指定

と補助を受け、合併後の岩国地域の将来像を描いたまちづくり将来構想を策定するなど、次第に法定合併協議会設置の機運が醸成されてまいりました。

そして、平成15年3月に関係7市町村の議会の議決をいただき、4月に法定合併協議会であります岩国地域合併協議会が設置されるに至りました。

この岩国地域合併協議会では、平成16年8月までの1年4カ月間に20回の協議会を開催し、41の協定項目について熱心な議論が交わされ、その9割以上について合意確認がなされました。

また、特定事項の調査審議のために設置された4つの小委員会では、延べ19回の会議が開催されるなど、委員の皆様方には、住民本意の合併協議とするために大変な御努力をいただいたところでございます。

そうした中、平成16年6月に、当初合併協議に参加されなかった玖珂町において広域合併推進の方針が出され、7市町村に対し合併協議への参加の申し出がなされました。

当初から、当地域の一体的な発展のためには、より広域的な枠組みでの合併が望まれていたこともあり、9月には関係8市町村の議会の議決をいただき、新たに玖珂町を加えた岩国地域8市町村合併協議会が設置され、非常にハードなスケジュールではございましたが、委員の皆様方の御尽力により、本日開催されました第6回協議会において、41の協定項目すべてについて合意確認がなされまして、この合併協定調印式を迎えるに至ったものでございます。

この間4年にわたる関係各位の御尽力、御協力に感謝を申し上げまして、合併協議の経過報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○**白木事務局長** それでは、ただいまから、8市町村長によります合併協定書への署名調印を行います。市町村長は、ステージ前方の調印席の方へお願いいたします。

合併協定書は、各市町村にそれぞれ1冊、計8冊ございまして、すべてに署名調印をいたします。内容といたしましては、皆様のお手元にお配りしておりますが、合併協定の内容、8市町村長による署名調印のページ、特別立会人、立会人による署名のページからなっております。

それでは、市町村長、署名調印をお願いいたします。

御列席の皆様方におかれましては、しっかりと確認していただきますようお願いを申し上げます。

〔合併協定書調印〕

○**白木事務局長** 市町村長の署名調印が終了をいたしました。市町村長は、どうぞ席の方へお戻りください。

続きまして、本日、御多忙のところ御臨席を賜りました山口県知事二井関成様に、特別立会人として御署名をお願いいたします。二井知事、調印席の方へお願いいたします。

それでは、二井知事、8冊の合併協定書への御署名をお願いいたします。

〔特別立会人の署名〕

○**白木事務局長** 大変ありがとうございました。二井知事、どうぞ席の方にお戻りください。

続きまして、本来であれば、この場で合併協議会委員の皆様方に立会人として御署名をお願いするところではございますが、時間の関係上、あらかじめ先ほど全員の委員の方々の御署名をいただいておりますので、この場をお借りいたしまして御報告にかえさせていただきます。まことにありがとうございました。

本日ここに、岩国市、由宇町、玖珂町、本郷村、周東町、錦町、美川町、美和町、以上8市町村の合併協定の調印が、二井山口県知事立ち会いのもと滞りなく終了をいたしました。

ここで、本日の合併協定の調印を記念するとともに、二井知事にも御参加をしていただきまして、いま一度8市町村長のかたい握手により、そのあかしを確実なものとしていただきたいと存じます。それでは、二井知事並びに市町村長はステージ中央へお願いいたします。

報道関係の皆様、また、撮影を希望される方は、どうぞ前の方で撮影をしてください。

それでは、合併調印を記念して、かたい握手をお願いいたします。皆様、大きな拍手をお願いいたします。

〔写真撮影〕

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

次に、市町村長は合併協定書をお持ち願います。市町村長、合併協定書を持たれましたら、二井知事とともにもう一度正面へお願いします。

〔写真撮影〕

よろしいでしょうか。大変ありがとうございました。二井知事、市町村長は席の方へお戻りください。

それでは、ここで、主催者からごあいさつを申し上げます。まず、岩国地域8市町村合併協議会会長であります岩国市長井原勝介がごあいさつを申し上げます。

○**岩国市長井原勝介（合併協議会会長）** ただいま御紹介いただきました岩国市長の井原でございます。先ほどは、二井知事初め、皆様方のお立ち会いのもとに、8市町村の合併協定書に無事に調印をすることができました。

もともと字がへたな上に若干緊張をしておりまして、ますます字が躍ってしまいました。これが何十年も後に残るのかと思うと、少し恥ずかしい思いもしながら、一方では、やはり何とも言えない感慨深いものを感じながら署名をしておりました。ありがとうございました。

考えてみれば、15年の4月でしたでしょうか、7市町村で合併協議会を立ち上げました。そして、昨年9月には玖珂町も参加をしていただきまして、8市町村で新たな合併協議会が立ち上がりました。

合計2年間にわたり協議を行ってきました。それぞれ歴史も違う、文化も違う、さまざまな制度や仕組みも違うこれだけの自治体が一緒になるということは、やはり大変な作業だなというのをつくづくと感じました。

いろいろ議論もありましたし、対立もしました。激しい議論もしました。特に議員の身分にめぐっては本当に大きな議論になりましたし、紛糾もしました。一時は分裂するんじゃないかというふうに思われた、私も感じたこともございました。

しかし、地域の将来を考えれば、以前から申し上げていたとおり、経済圏、文化圏が一緒になっているこの地域が一つにまとまるということは、我々みんな望ましいと、こういうふうに思っ
てまいりました。最終的には、こうした形でまとまって協定書に調印することができたということ
は、大変うれしいことでありますし、ありがたいことだというふうに思っております。

今、地方分権が進んでいます。国から地方へ財源権限が移譲されて、地方が自立して、責任を
持って、個性のある、特性のある地域をつくっていくことができるという意味では、長期的には
大変望ましい方向であるし、ぜひとも地方分権も確実に進めていかなければいけないというふう
に考えています。

合併を我々がする中で、その地方分権の確かな受け皿となる、体力のある、能力のある、足腰
の強い自治体、市をつくっていかなければいけないというふうに考えます。

しかし、一方では、国も長期の借金、一般会計でも500兆円を超える大きな負債を抱えて、
破綻状態にあると言ってもいいんじゃないかというぐらいの状況です。

岩国も大変厳しい来年度の予算編成をようやく終えたところでありますし、多分、きょうお集
まりの町村も苦しい中で財政運営をしていらっしゃると思います。地方も今、大変厳しい状況に
あります。

そうした中で、地方分権は一方では、やはり地方の徹底した効率化、スリム化、行財政改革を
求められる厳しい側面もあるということも事実であるし、我々も理解をして受けとめなければい
けないだろうというふうに思います。

この地域も、合併を確実になし遂げながら徹底した行財政改革を行い、むだを省き、スリム化
し、限られた財源を、これから住民のために必要になる福祉とか教育とか、そうした住民に密接
に関連する分野に、限られた財源を有効に、効率的に配分をしていかなければいけないというふ
うに思います。

15万人、870平方キロという本当に広い地域になります。でも、やはり文化も違う、特性
もある、海もある、川もある、山もある、それぞれ魅力のある地域もたくさん抱えています。
我々の努力次第では大きな可能性を秘めているということも事実であろうというふうに思います。

きょう、合併協定書に調印しました。あすは多分、無事に議会でも承認をしていただけるとい

うふうに思います。もはや我々は一体であります。大きな体の一部、我々は頭であり手足であろう、もう既に切っても切れない関係であるというふうに思います。

ここで、私は一つの提案をしたいというふうに思います。法律的には来年の3月20日に合併をするということですが、もはや調印をして、あしたの議会の承認が受けられれば、そのときから我々旧市町村の事実上の境界、壁を取っ払うと、あすからですね。ということを提案をしたいというふうに思います。いかがでしょうか。賛同していただけるでしょうか。（拍手）ありがとうございます。

きょうは、協定書に調印しまして本当に大きな一区切りではありました。でも、御存じのように、合併まで1年間あります。さまざまな準備をしなければいけません。合併後も大きな課題をたくさん抱えております。きょうで、もちろん終わりではありません。新たなスタート台に立ったというふうに思います。

大きな体が、お互いに連携をとってスムーズに動いていくことができるように、行政、議会、そして、市民、住民の皆様方が一致協力して、新しい岩国をすばらしい岩国にするために協力して働こうではありませんか。そして、我々の未来を、みんなで協力して切り開いていこうではありませんか。よろしくお願い申し上げます。

きょうは、二井知事を初め、御来賓の皆様方、そして、2年間にわたりまして協議に参加をいただきまして御協力いただきました協議会委員の皆様方、残念ながら途中で交代された方もいらっしゃると思いますが、その交代された委員の方々も含めまして、そして、若干傍聴は少ないですが、各協議会にわたりましては、大勢の皆様にも、市民の皆さん、住民の皆様にも傍聴していただきました。

市民の皆様からは、時に厳しい御意見もいただきましたが、合併という大きな方向性については一貫して変わらない支援をいただいたというふうに思います。すべての御協力いただきました関係者の皆様方に心から感謝を申し上げまして、御礼のごあいさつとさせていただきます。まことにありがとうございました。

○**白木事務局長** 続きまして、7町村を代表いたしまして、玖珂郡町村会会長であります由宇町長 榎本利光がごあいさつを申し上げます。

○**由宇町長 榎本利光（玖珂郡町村会会長）** 御紹介をいただきました由宇町の榎本でございます。関係の町村を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、山口県知事二井関成様を初め、関係の県議会議員の皆様方、そして、多くの皆様方に、この調印式に御出席をいただきまして、まことにありがとうございました。

私どもは、準備の段階から足かけ3年の長きにわたりまして、皆様方とこのような協議を進めてまいりました。

この協議の間には、山あり、谷あり、川あり、そして、私どもは、お願いしてもできない体験、貴重な経験をさせていただきました。これもひとえに合併協議会の皆様方、そして、関係の議会議員さん、職員の方、法定合併協議会事務局の方、県御当局を初め、市民、町民、村民の皆様方の温かい御理解と、御協力と、御支援によりまして、ただいまこのような調印式を開催することができました。

皆様方の御理解と御協力に、高いところではございますが、長年の御労苦に対しましてお礼を申し上げます。

私どもこの地域は、ただいま市長の話にもありましたように、地理的、歴史的、そして、経済的にも非常に関係が深く、消防組合を中心として広域行政を進めてまいり、本日に至っております。しかしながら、山口県で最も市町村数の多く、そして、行政面積は872平方キロ、山口県の約2割を占めると。

ちょうど1月の中旬より、私の町でも25会場でそれぞれ説明をいたしました。その間、ちょうど皆さん方、御存じのように、雪が降りました。羅漢ではスキーをしている人がいる。由宇の神代の海岸ではウインドサーフィンをしている、このように地域の違いが目当たりに現実として見る事ができると、やはり、とても広いんだなということを実感いたしました。

そして、きょう合併までの最後の法定協議会の中でも、それぞれの意見が集約されたことを述べられましたが、私どもも、多くの町民の皆さん方が、果たして合併をして、こんなに広い中、そして、財政事情が非常に厳しくなる中で、今までのようなサービスが本当に受けられるのだろうかというような不安や、そして、本当に切実な数多くの意見が寄せられました。

しかしながら、私どもは、途中でいろんなことはございましたが、合併をなし遂げなければいけないこの意見は皆さんで一緒でありました。

そして、私どもは、今から先、合併までに決めなければいけないこと、新しい決め事、そして、それぞれの地域が抱えている課題や問題点に果敢に取り組んでいかなければいけないと思います。

来年の3月でございますから、そういう期間はございます。しかしながら、すべてが解決するわけではありません。そうした問題の解決方法、そして、大きな問題につきましては方向性を見出していかなければいけないというふうに思っております。

先ほど申し上げましたように、大変広い中でございますが、私どもは、新市の隅々まで、今まで同様の行政の手が差し伸べられるような新しいまちづくりをしていかなければいけないというふうに実感をいたしております。

きょう御出席をいただきました皆さん方にも、さらにこの1年がとても大事な年となります。今まで以上に、新しい市のスタートに向けて御理解と、御協力と、御支援を賜りますよう切にお願いを申し上げます、ごあいさつとかえさせていただきます。本日はまことにありがとうございます。

いました。

○**白木事務局長** ここで、大変御多忙の中、本日の合併協定調印式に特別立会人として御署名をいただきました山口県知事二井関成様から御祝辞を賜りたいと存じます。二井知事、よろしくお願いいたします。

○**山口県知事二井関成** ただいま、多くの皆様方の御臨席のもとで、岩国市、由宇町、玖珂町、本郷村、周東町、錦町、美川町、美和町による合併協定の調印が滞りなく行われましたことを、まずもって心からお祝いを申し上げます。

ここに至るまでには、先ほどからお話がありましたように、さまざまな経緯がありました。私ども県の立場から見しても、何回か大変心配したこともありました。また、和木町の参加が得られなかったということは大変残念ではありますが、本日こうして記念すべき日を迎えられるのも、ひとえに岩国地域8市町村の行政、議会の皆様方、そして、住民代表の委員の皆様方の並々な御熱意と御努力のたまものであります。ここに、改めて敬意を表します。

先ほどからまた話がありましたように、現在、地方財政をめぐる三位一体の改革、あるいは地方分権の進展など、地方を取り巻く社会経済環境は大きな転換期を迎えております。

こうした時代の中にありまして、私は「自立、共同、循環」という3つのキーワードのもとで地域づくりを進めなければならない、住みよき日本一の元気な県にしなければならないという思いで今取り組んでおるところでございます。

こうした中で、この岩国地域8市町村の皆様におかれましては、県東部における中核都市の形成を目指して、地域の特性を踏まえた新たなまちづくりを推進するために、このたびの合併を選択されたわけでございます。

私は、県下で最大となる8市町村が参加をされた今回の合併協議において、皆様方が心を一つにされ、さまざまな課題を乗り越えてこられましたことは、県東部の中核都市形成に弾みをつけるものだと思っております。そして、新たな山口県の形づくりの歩みを大きく前進させるものだと考えております。

県といたしましては、来年3月20日の合併に向けた準備や、新市への円滑な移行に対する支援はもちろんです。新市建設計画に掲げる県事業の重点的な実施など、新市の将来像である「豊かな自然と都市が共生する活力と交流にあふれる県東部の中核都市」の実現に向けて、引き続き全力で支援をしてみたいと考えております。

今後とも、8市町村の皆様がこれまで合併協議を通じて築き上げてこられたかたいきずなのもとに、新しいまちづくりを目指して、一丸となって取り組まれますように念願をいたします。

また、きょうお集まりの皆様方には引き続き御健康にも留意をされ、また、御活躍をされますように心からお祈りを申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでと

うございます。

○**白木事務局長** 大変ありがとうございました。

二井知事には、これからも引き続き、新たな岩国市のまちづくりのために御指導、御尽力を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、ここで、本日合併協定調印式に御臨席を賜っております御来賓の方々を御紹介させていただきます。

ただいま御祝辞を賜りました山口県知事二井関成様。山口県議会議員武田孝之様。山口県議会議員山手卓男様。山口県議会議員畑原基成様。山口県議会議員橋本尚理様。山口県議会議員福田良彦様。

以上の方々でございます。本日は、大変御多忙の中御臨席を賜りまして、まことにありがとうございます。今後とも引き続き御指導、御協力をよろしくお願い申し上げます。

次に、本日の合併協定調印式に当たりまして、祝電、メッセージをいただいておりますので、ここで披露をさせていただきます。

「合併協定調印式をお祝い申し上げます。地方分権が進む中、皆様方の御努力により、岩国地域8市町村の合併調印式が行われますことをお喜び申し上げます。合併の日を目指し、関係者の皆様方のますますの御尽力を御期待申し上げ、岩国地域のますますの発展を願っております。輝く未来のため、地域に生きる私たちが元気を出すことが必要で、そのことが社会に明るい兆しをもたらし、日本の国が発展することだと確信いたしております。皆様方の御活躍と御健勝、御多幸をお祈り申し上げます」。衆議院議員平岡秀夫様。

次に、お祝いのメッセージを紹介いたします。

「8市町村による合併協定調印式、まことにおめでとうございます。豊かな自然と都市が共生した活力と交流にあふれる県東部の中核都市を目指されますことをお祈りいたします」。山口県議会議員藤谷光信様でございました。大変ありがとうございました。

以上をもちまして、8市町村の合併協定調印式を終了させていただきます。皆様方には、大変お忙しい中、調印式に御出席を賜りまして、まことにありがとうございます。皆様方の御協力によりまして調印式を滞りなくとり行うことができましたことを、謹んでお礼申し上げます。

今後、平成18年3月20日の新たな岩国市の誕生に向けて、引き続き皆様方の御指導、御協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。本日はまことにありがとうございました。

[午後4時00分閉会]